

特 集 号

5 | 20

平成27年(2015)

北区ニュース



東京都北区地域防災計画(風水害対策編)改定

東京都北区地域防災計画は、災害対策基本法に基づいた北区のあらゆる自然災害に対処する総合計画であり、平成25年3月に大幅な改定を行いました。その際、本計画の風水害対策編については、局地的集中豪雨などによる都市型水害に特化して対策を講じました。このたび、国や都の動向を受け、改定に取り組むとともに、近年の風水害を教訓とし、荒川などの氾濫による大規模水害を含めた風水害について、対策を講じたものです。

～災害リスクの共有と犠牲者ゼロをめざして～

水害をはじめとする風水害は、区民一人ひとりの事前の準備や避難行動により、被害を最小限に食い止めることができます。

区は、区民が十分な事前行動がとれるよう、区の風水害に対する体制を整え、迅速、的確な対応をとるとともに、災害リスク情報などの必要な情報を、あらゆる手段を用いて伝達し、区民のさらなる自助力向上を目指します。

災害履歴

最近5年間に、北区に被害を及ぼした風水害と北区外での主な土砂災害、竜巻災害を示しています。

平成 22 年	7月5日 集中豪雨 (大雨・洪水警報、土砂災害警戒情報)
23 年	8月 26 日 集中豪雨 (大雨・洪水警報) 9月 21 日 台風 15 号 (大雨・洪水警報)
24 年	4月 3 日 (暴風注意報) 5月 6 日 茨城県など 竜巻災害 6月 19 日 台風4号 (暴風警報) 9月 30 日 台風 17 号 (大雨・洪水・暴風警報)
25 年	1月 14 日 (大雪) 9月 15～16日 台風 18 号 (大雨・洪水警報、土砂災害警戒情報) 9月 16 日 埼玉県など 竜巻災害 10月 15日～16日 (大雨・洪水・暴風警報) 10月 16 日 伊豆大島：台風 26 号による土砂災害
26 年	2月 8 日 (大雪) 2月 14～15日 (大雪) 6月 29 日 集中豪雨 (大雨・洪水警報) 8月 20 日 広島県：豪雨による土砂災害

風水害コラム

園部おまわりさんありがとう きねん碑 ～ 狩野川台風秘話 ～

昭和33年9月に東京を襲った台風22号(狩野川台風)は、北区にも大きな被害をもたらしました。国鉄王子駅付近では、石神井川(音無川)があふれ、浮間の都営住宅では床上40センチの浸水など区内で5,063戸の床上浸水の被害が出ました。この台風の関東地方上陸は9月27日未明でしたが、それ以前から大雨が降り続き、斜面では土砂崩れが60数か所も発生し、13名の尊い命が失われました。



狩野川台風で大水となった王子駅付近(北区立中央図書館所蔵)

その中に赤羽警察署の園部巡査の話があります。台風が接近していた26日午後5時30分ごろ、赤羽警察署の園部正一巡査は、北耕地川(現在は暗渠)付近で発生した

土砂崩れの現場で、被災者の救出にあたっていました。その任務の中で、園部さんは、一家4人を救い出した後、さらに残された女の子を救おうとしました。すると、再び土砂くずれが起こり、彼は、押し流された家の下敷きとなり、北耕地川の濁流にのまれて命を落としたのです。遺体が発見されたのは、翌朝のことでした。彼の年齢は45歳で、妻と二人の娘を残しての殉職でした(『読売新聞』昭和33年9月27日)。

この園部巡査のエピソードを教材として取り上げた第三岩淵小学校では学童が深く感銘し、自らの手でささやかな碑を建て、花を捧げ、感謝の日誌を綴って園部巡査の冥福を祈りました。この話を伝え聞いた渋谷に住む石屋の石龍さんが、園部巡査の殉職と学童のまごころに心を打たれ、昭和34年5月5日に建立されたものです。

赤羽警察署にある園部さんの石碑(右)と説明版(左)



東京都北区地域防災計画（風水害対策編）改定のポイント

I 避難勧告等の具体的発令基準の明確化

避難準備や避難勧告等の判断や発令を的確に！

- 現状の避難勧告等の基準に河川の水位情報を追加するなど、より具体的かつ客観的な発令基準を定めました。
- 区民などに早めの避難を促すために「自主避難の呼びかけ」を位置づけ、また、新たに土砂災害に対する避難勧告等の発令基準も設けました。

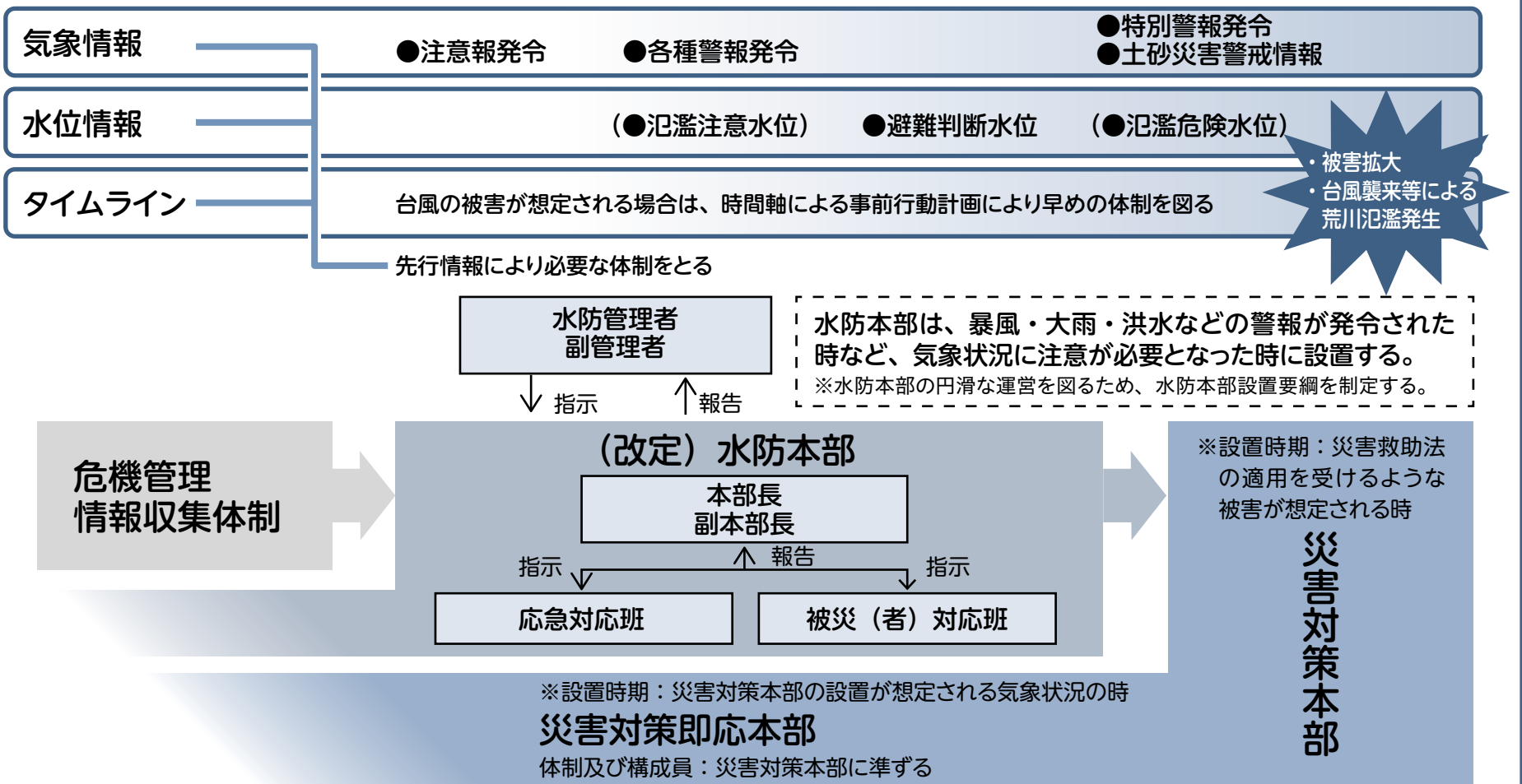


II 北区水防本部及び北区災害対策本部等の体制確立

区は体制をしっかり整え風水害に対処します！

- 風水害の種類や規模は多様です。どのような状況においても、区はさまざまな応急活動を適切に実施できるように、体制を見直し、その強化を図りました。

<風水害対応の全体像>



- 注意・警戒の呼びかけ ●自主避難の呼びかけ ●避難準備情報 ●避難勧告 ●避難指示
- 避難施設の対応 ●自主避難施設開設 ●高台の福祉避難所開設 ●高台の避難所開設

※河川水位と避難勧告等発令の関係については、内閣府「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」(平成26年)を踏まえて検討した。

III 避難の考え方の整理・適切な避難方法の構築

区民の適切な避難行動により被害を最小限にいとめるために！

- 局所的・突発的な風水害や荒川氾濫など大規模水害での避難など、各種状況を想定して、避難のあり方や避難所について再構築しました。

分類	位置づけ	候補施設
自主避難施設	避難勧告等が発令されるまでの間に、自主的に避難を行おうとする区民などの受入施設	北区ふれあい館など
避難所	災害後、浸水などにより自宅では生活できない被災者が、一定の期間、生活する場所	北区立小・中学校
指定緊急避難場所	切迫した災害の危険から逃れるための避難場所	都営・区営住宅など公共施設から適切な施設を順次指定

IV 情報連絡体制・住民等への広報体制の強化

区民に必要な情報を、あらゆる手段を用いて伝達！

- 迅速かつ的確な気象情報の収集、区民等への情報伝達に向けて、区は今後も各種情報メディアを必要に応じて、整備・拡充していきます。

V 東京都北区地域防災計画の普及・啓発

区民のさらなる自助力向上をめざす！

- 職員の訓練や自主防災組織、地区防災運営協議会におけるマニュアルの作成など、普及・啓発活動に努めます。



荒川知水資料館 (アモア) ご利用案内

過去の水害や荒川の成り立ち、都市の発展と新たな治水上の課題などについて伝え、荒川の治水対策について考えてもらう施設として、事業や流域の各情報の受発信、防災・環境教育の支援などの取り組みを進めています。

館内には、荒川で見られる魚・昆虫の標本や荒川下流域の浸水シミュレーションなどの展示がたくさんあります。荒川河川敷や岩淵水門とあわせて見学に行きましょう。

開館時間：午前9時30分～午後5時
(但し、7～9月は午後5時30分、12～2月は午後4時30分で閉館)

休館日：原則として月曜日(祝日を除く)、
祝日の翌日、年末年始

電話：(3902)2271
場所：北区志茂5-41-1

交通●JR赤羽駅より徒歩約20分。

- 地下鉄南北線赤羽岩淵駅または志茂駅より徒歩約15分。
- JR赤羽駅より都営バス「豊島5丁目団地」行き「岩淵町」または「志茂2丁目」下車徒歩約10分。

HP http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage_index007.html



災害リスク情報とは

区では、震災や水害、土砂災害等の災害による各地域の危険度や予想される被害などの情報を災害リスク情報と位置づけています。

●水害に関して

- ・ハザードマップ
- ・河川水位などのナウキャスト情報
- ・風水害時に起こりうる現象やその危険性に関する情報 など

●土砂災害に関して

- ・急傾斜地崩壊危険箇所等の情報
- ・「土砂災害警戒情報」や土砂災害に係る危険性に関する情報 など

パブリックコメントの実施結果

平成26年12月22日～平成27年1月28日に実施し、13件のご意見をいただきました。

※詳しくは北区公式ホームページをご覧ください。

HP <http://www.city.kita.tokyo.jp/bosai/kuse/koho/kocho/public-comment/h26/documents/bessi.pdf>

荒川下流域を対象としたタイムライン (事前防災行動計画)

タイムラインとは、台風の接近にあわせて具体的な防災行動を整理したものであり、防災行動のチェックリストとなるだけでなく、判断のサポートツールとしても活用できます。

国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所では、北区、板橋区、足立区をモデル地区として、平成26年8月21日、荒川下流域を対象としたタイムライン(事前防災行動計画)検討会を設置しました。

堤防部が決壊した場合などに備え、関係機関とともに、平成27年度の出水期前を目途に「荒川下流タイムライン(試行案)」の策定に向けた検討を実施しています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

HP <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00385.html>



荒川下流河川事務所は、埼玉県と東京都を流れる荒川の下流部約30kmの河川管理などを行っています。

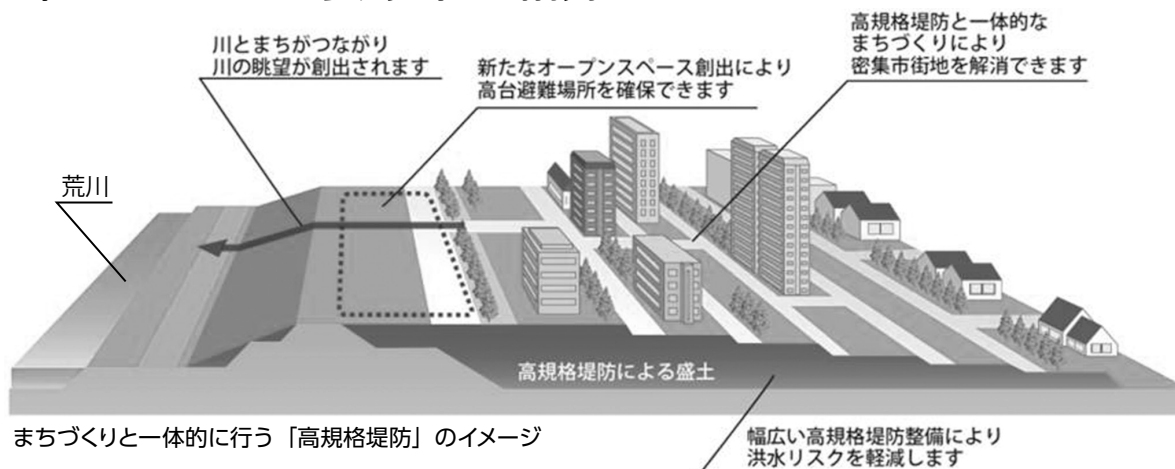
◎荒川下流河川事務所が取り組んでいる主要事業を紹介します！

1 首都圏大規模水害から街を守る治水対策

高規格堤防事業

これまでの堤防では計画規模を上回る洪水が発生した場合には、越水又は浸透により堤防が決壊するおそれがあります。

これに備え、荒川の下流部では想定を超える大規模な洪水でも、堤防が決壊しない幅の広い「高規格堤防」を整備しています。



まちづくりと一体的に行う「高規格堤防」のイメージ

耐震対策を実施した岩淵水門 (青水門)



2 首都直下地震に備えた危機管理

河川管理施設(水門・排水機場)の耐震対策

○首都直下地震のような大規模な地震が起きた際、津波等による浸水被害を防止するため、確実にゲートの操作が出来るよう「耐震対策」を行っています。

○対策は、主に水門の柱に補強鉄筋を巻いたり、コンクリートの中に埋め込むなどの工法を実施しています。北区の岩淵水門は、この工法により耐震対策の工事が行われています。

風水害対策 (知識編)

北区防災ハンドブックより転載



危険は急激に迫ってくる!

風水害は、まだまだ大丈夫だと思っても、急激に状況が変化する場合があります。危険が迫ってからでは手遅れになることもあるので、異変を感じたらすぐに対応するよう心掛けておきましょう。

風が強いとき

路上では

路上では、強風で看板が飛んだり、街路樹などが倒れたりする危険があります。近くの頑丈な建物に避難を。ただし、雨を伴う強風時には、地下室や地下街に逃げ込まないようにしてください。



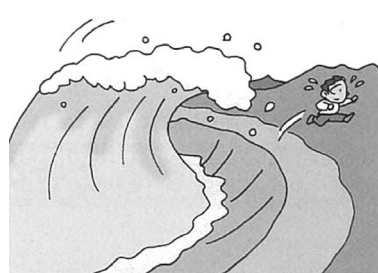
屋内では

風圧や飛来物で窓ガラスが割れ、破片が吹き込む危険があります。内側からガムテープなどをはり、カーテンを閉めておきましょう。風が強いうちは窓に近づかないように。



海辺では

海への転落や高波に巻き込まれる危険があります。また、高潮の恐れもあるので、すみやかに高台へ避難しましょう。強風や豪雨のときには、警報が聞こえないこともあるので十分に注意を。



大雨のとき

河原では

河原などでは、上流の豪雨による急な増水や土砂崩れの危険があります。雨のときには川などに近寄らないことがいちばんです。もし河川にいたときに警報が聞こえたら、すみやかに避難を。



車の運転中は

豪雨の際は視界が悪いうえに、操作が利かなくなることも。できるだけ道路の中心よりの水が浅い場所を選びながら、ゆっくりと高台へ避難しましょう。浸水でエンストしたら、再始動させないように。エンジンを傷めます。



路上で浸水してきたら

高い建物へ避難しましょう。その際、エレベーターは閉じ込められる危険があるので、なるべく階段を使って上の階へ行きましょう。



禁無断転載©東京法規出版

北区防災気象情報メール配信サービスをぜひご利用ください。



●「安全・安心」・快適戦略の一環として、気象庁などが発表する各種気象情報や地震情報などを携帯電話やパソコンに電子メールで配信するサービスが充実しました。すでに登録いただいている方も新機能をぜひご利用ください。

〈登録方法〉

- ①メールアドレス entry-kita-city@bousai-mail.jp まで空メール(件名や本文のない電子メール)を送信してください。
 - ②登録用URLが返信されますので、そちらをクリックしてください。
 - ③(新規登録)「北区防災気象情報メールシステムへの登録が完了しました」という画面が表示されたら、システムへの登録作業は完了です。
- ※メールアドレスの指定方法として、右の携帯メール配信登録用QRコードもご利用になれます。



●北区の気象情報などをパソコンや携帯のホームページでも見ることができます。

〈閲覧方法〉

北区防災気象情報サイト内の情報や北区水位・雨量観測システムの情報を閲覧する場合には、メールシステム同様、受信料(通信料)が必要になります(自己負担)。

※下記の北区防災気象情報サイト用URL及び右のQRコードをご利用ください。

- ①北区防災気象情報サイト用(PC版)URL
HP<http://micosfit.jp/kita-city/>
- ②北区防災気象情報サイト用(携帯版)URL
HP<http://www.bousai-mail.jp/kita-city/top.html>
- ③水位観測所のライブ映像(PC版 北区水位・雨量観測システム)
HP<http://kawanosuii-kitaku-tokyo.jp/>



問い合わせ先

北区危機管理室防災課
☎(3908)8184 FAX(3908)4016 ①bosai-ka@city.kita.lg.jp

危機管理室マスコット「がまんガエル」